

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	卒業研究 I	高山 有紀	2年次	春

授業のキーワード	教育史、子どもと社会
授業の概要	日本の教育の歴史を概観し、その上に立つ現代の教育と、教育をとりまく状況について理解していきます。また、ゼミ論文のテーマを決定します。
期待される学習成果（目標）	①教育の歴史を通じ、日本や日本社会についてより深く理解できるようになります。 ②教育の歴史を通じ、人間についてより深く理解できるようになります。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。	第9講	ゼミ論文の題材を吟味する	各自のゼミ論文のテーマに沿って、章立てを考えます。
第2講	教育政策の現状	現在進められている教育政策の状況について学びます。	第10講	ゼミ論文の準備	各自のゼミ論文の構想を練ります。
第3講	教育政策の現状	現在進められている教育政策の状況について学びます。	第11講	ゼミ論文の準備	各自のゼミ論文の構想を練ります。
第4講	教育の歴史をふりかえる	教育の現況にもとづきながら、日本における教育の歴史について概観します。	第12講	ゼミ論文の準備	ゼミ論文について互いに構想を発表し、意見交換をします。
第5講	教育の歴史をふりかえる	教育の現況にもとづきながら、日本における教育の歴史について概観します。	第13講	ゼミ論文の準備	ゼミ論文について互いに構想を発表し、意見交換をします。
第6講	教育の歴史をふりかえる	教育の現況にもとづきながら、日本における教育の歴史について概観します。	第14講	ゼミ論文の準備	ゼミ論文について互いに構想を発表し、意見交換をします。
第7講	中間のまとめ	前講までの学習内容を総括します。ゼミ論文の題材について、素案を持ち寄ります。	第15講	まとめ	論文の書き方の基本について指導し、ゼミ論文の一部を実際に書き始めてみます。
第8講	ゼミ論文の題材を吟味する	各自のゼミ論文のテーマ（案）を参考にしつつ、教育の歴史や教育問題の現況について補足的に講義します。	定期試験		ゼミ論文の構想（章立ても含む）と作業計画をまとめて提出してもらいます。
評価方法		授業への取り組み（30パーセント）、課題に対する評価（70パーセント）により総合的に評価する。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			山本正身『日本教育史—教育の「今」を歴史から考える—』（慶應義塾大学出版会） 海後宗臣・仲新・寺崎昌男『教科書でみる近現代日本の教育』（東京書籍） 小山静子『子どもたちと近代—学校教育と家庭教育—』（吉川弘文館）		